

## 団体名：ばあばら

活動地域：杉並区

助成額：99,985 円

### 【当初の目的に対しての結果】

コロナ禍においても、一度も休むことなく、予定通りの活動を実施できた。更に、申請段階で未定であった遠足（神宮球場にてプロ野球観戦）を実施することができた。ほとんどの子どもが初めて球場に入り、プロ野球を生で観戦することを経験した。外野席での応援合戦も楽しんだ。通常の食堂については、年度途中でこれまでの会場賃借料を支払うことができなくなり、2023年2月から代表の自宅を解放しての開催に切り替えた。食器、食材、調味料、調理器具、ごみ、学習教材の運搬がなくなり、体力的な負担は軽減された。一方、光熱水道費の高騰により、賃借料がなくなっても、事実上の持ち出しは減っていない。子どもたちの様子は、より家庭的な環境での開催により、安心感が増し、生き生きと参加しており、出席率が上がった。ほぼ全員が遅い時間になっても食事をしに立ち寄るようになり、残菜がなくなるどころか、食糧が不足する事態も生じている。食材の確保がより重要になっている。

### 【組合員へのメッセージ】

子ども食堂活動へのご理解とご支援に心より感謝しております。国内産の安心安全確かな食材を提供することで、食事を通して子どもを育む食育の場になっています。子どもたちは食材の違いに敏感に反応し、同じ献立でも、東都の食材と他社の食材では食べ方は歴然と異なります。活動を始めて5年の実績により、利用希望者が増える中、食材・調味料・水道光熱費の高騰により、子ども食堂の運営は困難が増加しているものの、その需要は高まり、重要度を実感する中、2023年度の支援は減額となりました。私も長く組合員として出資・運営・購入をしていますが、年寄り世帯となり子どもや孫が来訪する時期以外は食料品の利用数が減っています。一方で、子ども食堂に集まる近隣の子どもたちは増え、確かな味覚が東都の食材を選び、しっかり食べてくれます。家庭では食べないサラダを平らげた報告をすると養育者から食材や調味料に問い合わせが入ります。直ちに組合拡大につながるということではありませんが、その価値はしっかりと伝わっています。地域の子供たちへの食育、そして、東都生協理念の広報として子ども食堂支援を位置づけ、より多くの基金をお寄せいただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。